

■司会 浜崎 政寿〈島根県〉 島根県立西部生涯学習推進センター 社会教育主事
田島 恭子〈佐賀県〉 財団法人「孔子の里」 事業担当

5.20

1. 学社融合研究会のアプローチ

14:15~14:40

ー教育における異業種交流・自己開発の理念と方法ー

○森田啓二・富崎剛章・桑原広治〈熊本県〉 菊水町立菊水中央小学校 教頭

学社融合の推進は「教職員の意識改革から」という視点から、「あらゆる分野の方々から知恵をいただく研究会」を目指し、県内の教職員、行政職員などで平成10年に発足、年間5回ほど研究会を開催している。教職員等と地域の人々が学社融合の理念を理解し、教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の各領域において融合を図るには、専門的指導者が必要であるとの考えから「人材育成」を視野に入れ、理論と実践の両面から研究を進めている。

2. 「ゆめのなかまたち」

14:40~15:05

ー府中町子どもセンターの取り組みを通してー

加美貴代香〈広島県〉 広島県府中町子どもセンター運営協議会事務局

平成11年7月に子どもセンター運営協議会を発足、現在は、府中町（社会教育課）に事務局を設置し、15名の子どもセンターボランティアスタッフと活動をしている。公民館内の一室を「子どもセンター」として開放し、地域の子どもの体験活動や家庭教育を支援する情報を広く収集、広域（広島市3区、安芸郡4町）に情報発信を行っている。子どもの参画できるセンターづくりを目指して活動中である。

～ ティータイム ～

15:05~15:40

3. 地域に根差した国際交流活動

15:40~16:05

ーワールドカップサッカー語学ガイドボランティア活動を目指してー

飯田 文典〈大分県〉 ワールドカップ語学ガイドボランティア組織「ANIMO（アニモ）」事務局

ワールドカップという国際的なイベントへの参加を目指す中で、語学という媒介を通して若中年層を巻き込む公民館活動を行っている。平成9年以降、英語・中国語・スペイン語・韓国語会話の語学サークルや「インターナショナルくらぶ」がスタート、平成12年3月には語学ガイドボランティア組織「ANIMO（アニモ）」が発足した。ボランティア養成講座も開始する。留学生との交流や他団体との連携によって、国際交流のネットワーク化を進めている。

4. 生涯学習指導者養成にチャレンジする全国初の高等学校

16:05~16:30

榊原 恒司〈広島県〉 広島県尾道高等学校通信制課程総合学科 科長

平成12年4月より通信制課程のカリキュラムに生涯学習指導者養成コースを設置、開講した。指導者養成のために8科目（16単位）を用意し、すべて修得すれば「地域アニメーター」の認定を行い、さらに1年間のボランティアを経験すれば、尾道市教育委員会より認定書が交付され人材バンクに登録される。資格取得後の活躍の場の提供、「しまなみ大学」との連携が、今後の課題である。コースの目的、具体的内容・方法、展望について発表する。

5. 総括討論

16:30~17:00